

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 24 日

評価対象事業		評価者	行革推進課長	能條 裕子
経企-07 行財政改革推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	行革推進課
総合計画上の位置付け		分野	行財政運営	施策の方針
			行財政運営	

1 事業の目的		2 平成26年度に実施した事業の概要		
対象	市職員等	・行財政改革の推進及び進行管理、鎌倉行革市民会議の開催を行った。 ・業務改善を図るため、業務分析を実施した。		
意図	本市の激しい行財政運営の中、限られた行政資源を効果的・効率的に運営するため。			
効果	健全で市民にわかりやすい効果的・効率的な都市運営の実現			

3 事業費等基礎データ					
データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人口	世帯数	人口	世帯数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数					
運営資源状況	当初予算(千円)	3,413	決算値(千円)	1,679	/
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	945	その他	945	
	一般財源	2,468	一般財源	734	
事業経費運営	人員配置数	2.5	人員配置数	2.5	
	人件費(千円)	19,057	人件費(千円)	18,414	
	総事業費(千円)	22,470	総事業費(千円)	20,093	
	市民1人当りの経費(円)	127	市民1人当りの経費(円)	113	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	第3期基本計画の策定に合わせて新鎌倉行政経営戦略プランの見直しに取組む必要がある業務をより効率的かつ効果的に遂行するため、事業に対する適正な職員数の配置と業務改善を行う必要がある	
課題解決のために行った平成26年度の取組	新鎌倉行政経営戦略プランに対する行革市民会議からの指摘内容や実施計画の策定状況、包括予算制度の導入状況を踏まえながら、新プラン策定に取り組んだ。民間委託により障害者福祉課を対象に業務量調査を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	新行革プランの策定を進めてきたが、取組内容の確定に時間を要し計画決定には至らなかった。	

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉行革市民会議

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	引き続き業務量調査を実施し、事業に対する適正な職員数の配置と業務改善の推進を行う。		
総評	新たな行革のプランを策定し、時代のニーズに合わせた効率的・効果的な市政運営の実現を目指していく。				

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	行政改革取組状況 行財政改革の包括計画策定の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	包括的な行財政改革の計画の必要性や役割を確認するために、他市の策定状況を把握する								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	市民意識調査結果における「鎌倉に住み続けたい」と感じる市民の割合						単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26の実績値は、平成27年6月24日時点の意識調査集計データ。			
行財政改革推進事業の最終的な目的は市民満足度の向上であり、それは「鎌倉に住み続けたい」という数値に顕在化すると考えられるため	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	84.7									
	達成率	84.7%									
指標の内容							単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	新鎌倉行政経営戦略プランのアクションプログラムの達成率は経年で上昇している。計画期間は平成27年度いっぱいを目処としていたが、新たな行革プランの策定をする予定から平成26年度いっぱいをもって計画を終了する。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---